

基本計画の構成例 - 項目④拠点の方向性

【テーマ 2】整備方針（拠点整備によって目指す将来像）

※整備方針は、この拠点整備によってめざす将来像や目標を明確にし、以降の施設内容やサービス等の検討の基礎となるものであるため、御来屋だけでなく大山町の海の観光拠点であるという視点も踏まえて設定することが望ましいと思われまます。

（前回でのご意見や視点）

①拠点を通して住民が楽しく魅力あるまちづくり
②海の拠点エリアだけではなく山と海がある大山町全体をどうつないで生かすか
③子どもが危なくなく海で遊べるような場所
④地球温暖化や磯焼けによる影響があるならば海の資源を守る取り組み
⑤雇用がないために人口が流出し空き家生まれる
⑥観光だけではなく人口減少対策につながる情報発信拠点としての機能
⑦住民が楽しそうに暮らしているところでの観光
⑧海の生き物や魚に触れられて子どもたちが楽しみながら半日でも1日でも過ごせる環境

（考え方・イメージ）

- 観 光：海の玄関口となり山まで自然いっぱい楽しめるアドベンチャー拠点
- 漁 業：大山の恵みを受け継ぎ豊かな漁場を生かし守る拠点
- まちづくり：子どもも大人も海に親しみ御来屋のまちに賑わいが生まれる拠点

【テーマ 3】拠点コンセプト

※コンセプトは、施設建築や設備・サービスの展開などを行う際に一貫した考えとなるものです。誰にどのような価値を提供するのかといった視点で設定することが望ましいと考えられます。

（前回でのご意見や視点）

①他所行きでなくて地元の素朴な感じを出すような施設
②ハワイやアートコンセプトにするのも面白い
③自然を求めてこられる方は多い
④街道側からと海側からのそれぞれ特徴的な集落の魅力的で貴重な景色
⑤街道側から見える短冊上にある空き家や空き地から垣間見る海の景色

（考え方・イメージ）

- 地元の素朴な暮らしが味わえる拠点
- 自然とアートと原風景が融合する拠点

【テーマ4】町内における拠点の位置づけと関連施設との住み分け

※町内には海の観光拠点のほかに道の駅大山恵みの里や大山参道市場などの類似の施設、また並行して活用策を検討している山陰道淀江IC跡地などがあります。町全体の活性化につながる海の観光拠点にするには、これらとの連携や住み分けによる役割分担を設定することが望ましいと思われま

(前回でのご意見や視点)

①山の拠点と道の駅と淀江IC跡地等との住み分け
②大山町の中心にある御来屋のアクセスの利便性の活用
③御来屋の拠点づくりだけではなくもっと広域につながる
④店舗やアウトドアなどの他の観光につなげる
⑤御来屋全体エリアを捉えて拠点が玄関となり海岸や街道への動線を作る

(考え方・イメージ)

- 町内での位置づけ：海と山をつなぐ海側観光の玄関口、御来屋活性化につなげる中核拠点
- 海の拠点と山の拠点：連携（他方への再来訪、両端に目的地を作ることで動線を生む）
- 海の拠点と恵みの里：差別化（客層・品揃え・サービス等での住み分け）
- 海の拠点と淀江IC：差別化（客層・品揃え・サービス等での住み分け）
- 恵みの里と淀江IC：差別化（客層・品揃え・サービス等での住み分け）

【テーマ5】県内における拠点の位置づけ

※町内だけではなく県内や県外などの観光や商業などから見たときに果たす海の観光拠点の役割を明確にして、町外からの来訪の動機付けや誘客につながる運営を行っていくために設定することが望ましいと思われま

(前回でのご意見や視点)

①サイクリングなどの広域的な拠点としての役割
②甲川溪流まつりなど海と親しめるイベント

(考え方・イメージ)

- 海にふれあえる観光拠点
- サイクリングのデスティネーション